

2014年3月7日

各 位

アルフレッサ ファーマ株式会社

第39回発明大賞における当社社員の発明功労賞の受賞お知らせ

第39回発明大賞（日本発明振興協会／日刊工業新聞社 主催）に応募し、下記のとおり当社の社員が発明功労賞を受賞いたしましたことをお知らせいたします。

（発明大賞に関しては日本発明振興協会 <http://www.jsai.org/>からご覧いただけます。）

記

【受賞者】 診断薬研究開発部 サブリーダー 加藤 誠司

【受賞テーマ】 難病 TTP の診断に有効な酵素の活性測定法と使用する抗体

【受賞内容】 体内の細かい血管に血栓ができることにより、全身の臓器が動かなくなる疾患で、難病と指定される「血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）」に関わる物質を特異的に認識する抗体を作製し、TTPの原因となる酵素の活性を簡便に測定する方法を確立しました。従来2-3日を要していた測定時間を短時間（3時間）でかつ高感度に測定することができます。複数検体の一括検査や自動分析装置を使った測定も可能で、病院や検査センターに導入しやすく、難病である TTP の早期診断や治療に貢献しています。

以 上